

# こどもプラザ図書館の開館に寄せて

こどもプラザ図書館へ、絵本作家・児童文学・YA作家の先生方から、  
こんなにたくさんのメッセージが届けられました。(お名前五十音順)

子供の成長にとって、本と絵本の存在は大事です。小さな紙の束の中に、驚くほど豊かな知識や体験が詰まっていることに、僕自身驚きます。本を開くという豊かな経験を、たくさんの子供たちに味わってほしいです。

(いしかわこうじ 様/絵本作家)

私の仕事の原点になった場所が図書館や学校の図書室でした。お目当ての本が借りられていても、そこには別の世界にいざなってくれる本がありました。皆様もどうか図書館アドベンチャーを楽しんでください！

(いりやまさとし 様/絵本作家)

私は小学生のころ、図書館で借りた恐竜の本を見て、物語を想像するのが大好きで、とうとう大人になって恐竜絵本を描く作家になりました。図書館はたくさんの本と出会い、想像力をはぐくむ貴重な場所です。がんばれ！「江東区こどもプラザ図書館」。(黒川みつひろ 様/絵本作家)

こどもプラザ図書館ご開設おめでとうございます。皆さんにとって、想像の翼を広げ、心の旅を楽しめる場所になりますように。たくさん本を読んでもらえますように願っています。(真珠まりこ 様/絵本作家)

江東区こどもプラザ図書館ができて江東区の子供たちは幸せですね。本を読むと想像力や知識が身につきます。疑問があるときはその疑問を学び知識をつける事です。知識があると怖いこともなくなります。さあ！たくさん本を読んで無敵になろう！(塚本やすし 様/絵本作家)

ひとりぼっちだなと思ったら、図書館に行こう。ならんでいる本はすべて、君の友だちからの手紙だ。もう今はこの星にいない友だちや、遠い国の友だちが、本のなかで君に手をふっている。さあ、図書館に会いに行こう。

(ドリアン助川 様/作家、日本ペンクラブ「子どもの本」委員長)

江東区こどもプラザ図書館の開館、おめでとうございます！ここに集うみなさんが、新しい発見や刺激を受けて、明るい未来につながることを心から願っております。いつか私もお伺いしたいと思います。

(中井はるの 様/児童文学翻訳家)

ご開館おめでとうございます。0歳から18歳までの子どもたちが、その時その時に必要とする本は変化に富んでいます。生まれたばかりの江東区こどもプラザ図書館様がどのような姿に成長していくのか、楽しみにしております。

(梨屋アリエ 様/児童・YA作家/日本YA作家クラブ世話人)

未知の世界や胸おどる物語がつまった本が数え切れぬほど並び、頁をめくるたびに冒険ができる……。そんな宝箱みたいな場所が誕生したことを嬉しく思います。この図書館から、子供たちの未来への夢が数多く育まれますように。

(野中ともそ 様/作家)

『こどもプラザ図書館』の開設おめでとうございます。本はあらゆるところに飛んでいける魔法の絨毯です。そして希望の光を灯すランプです。たくさんの子供たちがそこから世界に飛び立ちますように。

(はたこうしろう 様/絵本作家)

本はことばの花束です。その花びらは、ひとひらひとひら、こどもたちの心に積もって、生きていく栄養になるでしょう。そう信じて、本づくりをしています。児童書に徹した、こどもプラザ図書館、素晴らしいですね！

(ひろかわさえこ 様/絵本作家)

蔵書6万冊の児童書専門図書館がオープンする！児童文学作家としては胸がドキドキする話です。館内に住みこんで一日中読書して過ごせたらいいな。一日に12冊読むとすると5千日、つまり約14年かかるわけでそれはさすがにムリだから、せめて一週間ほど通いつめてあれこれ読みふけてみたいですね。(松原秀行 様/児童文学作家)

こどもプラザ図書館のオープンおめでとうございます。読書は、知識を増やしたり、脳内で人生経験を積んだりできる「幸せの素」です。ぜひ、いい本をたくさん読んで成長し、一度きりの人生を思い切り楽しみましょう！

(森沢明夫 様/作家)

